

## 再生可能エネルギーの全量買取に関するプロジェクトチーム 第6回ヒアリングの論点

平成22年6月9日

### ○制度の基本的な考え方

- ・再生可能エネルギーの導入拡大、費用負担、系統安定化対策、産業競争力のバランスをどう考えるべきか。
- ・地球温暖化対策のための税や国内排出量取引制度等、他の負担との整合性をどう考えるべきか。

### ○買取対象、買取範囲（全量・余剰買取、新設・既設）

- ・太陽光以外の電源（風力・水力・バイオマス・地熱等）にも買取対象を拡大すべきか。
- ・太陽光発電については余剰買取と全量買取のどちらの方法とすべきか。
- ・新設に加え、既設も買取対象とするのか。

### ○買取価格水準、買取期間

- ・原則として全ての再生可能エネルギーを同一の買取価格・期間とするか、種類ごとに買取価格・期間を変えるか。

### ○費用負担の方法

- ・受益者負担の考え方から電気料金に上乗せすべきか、税などの方法によりエネルギー消費者全体で負担する制度とすべきか。
- ・地域間調整の是非についてどう考えるか。
- ・特定の分野に対する軽減措置の是非についてどう考えるか。